

# 私たちの生活はどう変わるか？

市民は家庭やコミュニティを大切にしながら、自分の生活を個性的に送ろうとするようになり、産業や技術の発展はこのライフスタイルの選択の幅を大きく広げているだろう。

「家庭でのシステム化」  
どの家庭にもコンピュータがあり、主婦は家計の管理、ショッピング、毎日の献立や財テクも任せておける。また火災、盗難など事故も未然に防げるし、電気器具も制御してくれる。加えて、家事ロボットの普及で家事は格段に軽減される。

また、家族それぞれ持っているパソコンにより、多くの人と知り合ったり、学んだり、心を豊かに、楽しく生きるためにも使われている。

「広くて機能的な住宅」  
土地を有効に使い、鉄道や道路をまたいでの高層住宅が出現したり、戸建てでも屋外空間が広がりに、戸建てでも広い住宅になる。

家は、光・風・空気・地下水を利用して採光部や冷暖房・給湯・融雪・室内の温度や照明もコントロールする。

間取りはライフスタイルに応じて自由に変わることができ、家具調度はレンタルを利用して居住スペースを有効に使っている。

「ファミリーカー」  
老人、主婦、障害者を含めてすべての人が手軽に使える車が出てくる。

この車に地図をおぼえさせ先行先を指示すると自動運転で目的地につく。車にセンサーが取りつけてあるので、交通事故はほとんどない。エンジンも水素エンジンにならなくていい。

「医療システム」  
死ぬまで元気にはしゃぐ心算の

せるような医療システムが完成している。

精密医療機械の発達で、診断治療、手術は比較的容易に行える。医療の中心は、コンサルタントドクターシステムになっている。

医師と各家庭はパソコンで結ばれ、各自の体のことがすべて記録された電子健康手帳により、健康相談を受ける。

医師の指示で、家庭に居ながら的確な健康管理を自らすることになる。

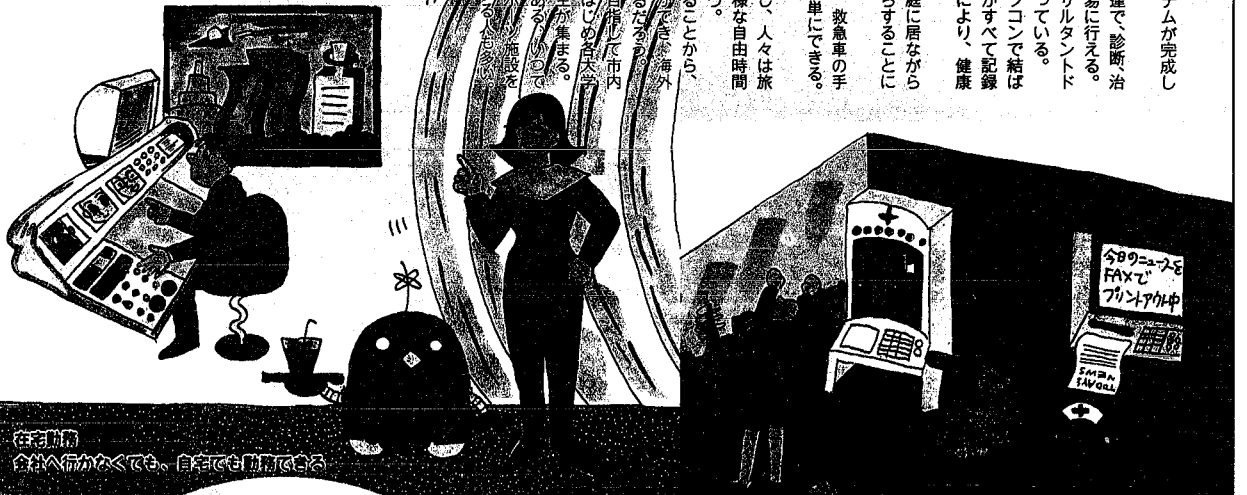
異状発見のときも、救急車の手配、病院の予約なども簡単にできる。

「余暇利用」  
週休三日制が定着し、人々は旅行・趣味・学習と多様な自由時間の使い方をすすらう。

旅行需要が多くなることから、各地に大規模休暇村ができ、海外への長期滞在も増えるだろう。

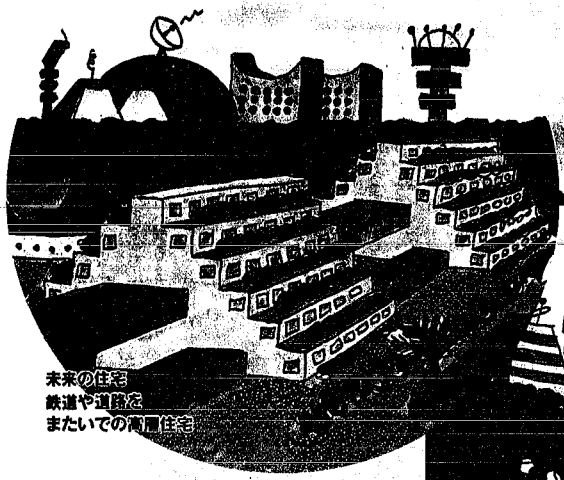
また、生涯学習を自覚して市内にある大学院大学をはじめ各大学の公開講座にも聴講生が集まる。

市内のあちこちにある公園でも手軽に楽しめる施設が利用して汗を流している。

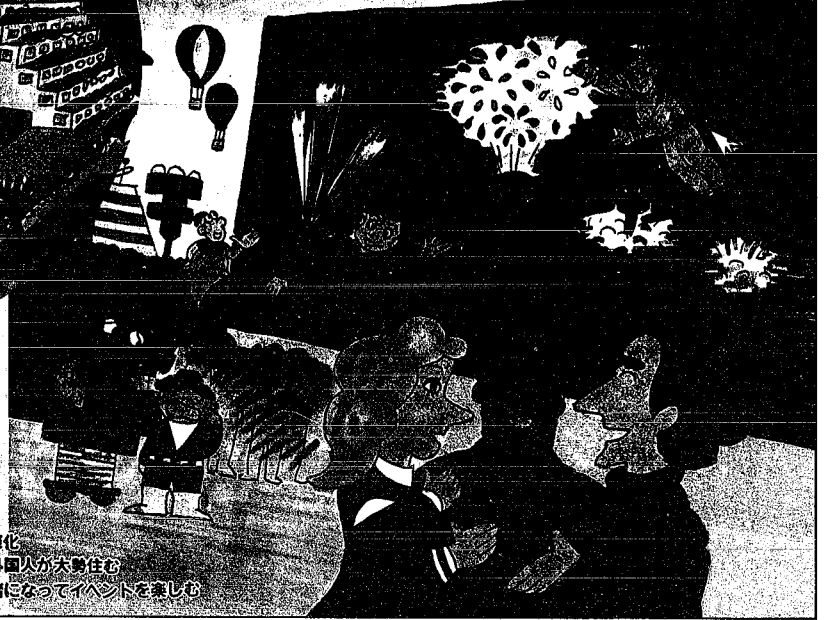


未来の住宅  
鉄道や道路をまたいでの高層住宅

医療システム  
医師と各家庭は、パソコンで結ばれ家庭に居ながら、健康相談を受けることができる



未来の住宅  
鉄道や道路をまたいでの高層住宅



まちが国際化  
市内には外国人が大勢住む  
市民と一緒にイベントを楽しむ

**NEXT100**  
私たちのまち 新聞はどう変わるか？  
これからの100年にむけて